

ハブに咬まれないための7か条

- 1 道路の中央を歩く。
- 2 不用意に草むらに入らない。
- 3 夜は照明を持って歩く。
- 4 ハブやネズミの隠れ場所になる家の回りの草や木の枝などを刈る。
- 5 草むらにはいるときは深い長靴を履き棒であらかじめたたいてから進む。
また、ハブを見つけたら1.5m以上離れる。
- 6 やぎ小屋、牛小屋などの戸を開けて入るときは、上下左右・頭上を確かめてからはいる。
- 7 草むらや川岸などで作業するときは、つばの大きな帽子、厚手の長袖シャツ、革の手袋、脚はん、長靴を着用する。

ハブは直射日光が苦手



ネズミ退治でハブは近寄らず



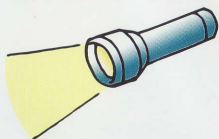
作業はつば帽子だぶだぶシャツ長靴手袋



ハブより先に見つけて逃げろ



道の中央を懐中電灯を持って歩こう



ハブに咬まれたら

(ハブ咬傷初期治療法・携帯用ハブ毒吸出器使用法)

ハブに咬まれたら、すぐに病院で治療を開始することが大切です。また、病院に着くまでの応急処置がきわめて重要です。

万一、ハブに咬まれたら、あわてずに落ち着いて次のような行動をとりましょう。

HEE--LP!
誰か来てーっ!
i te te, i te te



①ハブに咬まれたら、身近にいる人に助けを求め、走ったりハブを殺そうとせずに安静を保ちます。

②毒を吸い出す。
早く血液と一緒にハブ毒を体外に吸い出してしまうでしょう。毒の吸い出しは、人の口または毒吸い出し器を利用して病院に着くまで続けましょう。



Gyuu-
Gyuu-
Gyuu-



③また、毒が体内に広がるのを遅らせるため、傷口より心臓に近いところをタオルなどできつく縛ります。

④できるだけ早く病院に着くようにします。あらかじめ病院に電話連絡などしておけば早く血清などの治療の準備ができます。



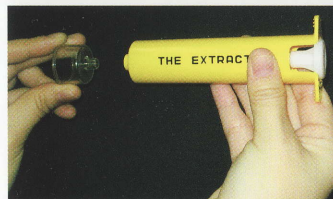
逃げ
逃げ
それ逃げ

県では、作業着のポケットにも入り、手軽に一人で毒の吸い出しができる「携帯用ハブ毒吸出器」の普及を図っています。

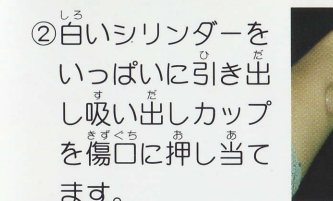


「携帯用ハブ毒吸出器」

毒吸出器の使用法



①咬まれた場所に合わせて透明のカップを選び、筒先にしっかりと取り付けます。



②白いシリンダーをいっぱい引き出し吸い出しカップを傷口に押し当てます。



③そのままシリンダーを最後まで押し入れます。その時、少し力が必要です。ひざや立ち木などで支えてやるとうまくいきます。病院に着くまで繰り返し吸い出してください。

注意

1. 吸出器はあくまでも応急処置ですので必ず病院に行き医師の手当てが必要です。
2. 「毒吸出器」は、薬局、薬店で購入できます。